

国際スケート連盟

コミュニケーション第 1932 号

アイスダンス 技術規程のための要件 2015/16 シーズン

技術規程では、そのうちの一部がアイスダンス技術委員会により決定される要件によって補完される必要があると定めている:

- 1 シーズンのみ有効であると技術規程に定義されている要件:
 - 国際競技会のパターンダンス課題,
 - 国際競技会のパターンダンスのための音楽の要件,
 - ショートダンスのリズムまたは主題, 必須要素 (パターンダンス要素のためのキーポイント及びキーポイントの特徴を含む)及びガイドライン.
 - フリーダンスの必須要素.2015/16 シーズンの要件は本コミュニケーションに含まれる.

- 継続的に有効であると技術規程に定義されている要件:
 - コールの仕様と難度レベル,
 - 採点基準,
 - 価値尺度.

これらは必要に応じて更新されうる. 現在継続的に有効な要件に対して, 2015 年 7 月 1 日時点で発効する更新は今後のコミュニケーションにて発表される.

1. 国際ノービス競技会のパターンダンス課題(コミュニケーション第 1886 で公表された通り)

1.1 ベーシックノービス

2つのパターンダンスを滑ること:

グループ 1: #1 フォーティーンステップ と #4 ヨーロピアンワルツ

1.2 アドバンストノービス

2つのパターンダンスからなる1つのグループを, シーズン毎に公表された2つのグループから, 競技会の最初の練習の前に抽選すること:

グループ 2: #3 ロッカーフォックストロット と #9 スターライトワルツ

グループ 3: #12 キリアン と #23 ブルース

2. 国際競技会のパターンダンスのための音楽の要件

規程第 707 条第 5 項は, 国際競技会ではパターンダンスに, 1 つまたは複数のパターンダンスの音楽について定められた要件を満たす音楽をカップルが提出するとアイスダンス技術委員会が決定した場合を除き, 現行の ISU アイスダンス音楽を用いると定めている.

2015/16 シーズンにおいては, 以下のパターンダンスについてカップルは自ら音楽を用意しなければならない:

- 国際ノービス競技会:
 - ベーシックノービス: #4 ヨーロピアンワルツ.
 - アドバンストノービス: #9 スターライトワルツ と #23 ブルース
- 他の国際競技会及び国際アダルト競技会: 競技会の要項での組織委員会の発表に従う.

音楽はパターンダンスのリズムに沿ったものを選ばなければならない。ボーカル入りでもよい。必須シークェンス実施中のテンポは一定で、かつそのパターンダンスに要求されるテンポ(ISU アイスダンスハンドブック 2003 参照)±2 拍/分に従わなければならない。

注:

- 音楽の選択は、ISU アイスダンス音楽からでもよい。この場合 1 番から 5 番の曲のみを選ぶことができ、カップルは規程第 343 条第 1 項に従って競技会用の音楽を用意するものとする。
- 上記の音楽要件やテンポ仕様の違反は規程第 353 条第 1 項 n)に従ってペナルティが与えられる。
- カップルが準備した音楽への規程第 708 条第 1 項 d)の適用にあつては、そのダンスの最初のステップが 1 小節内の第 1 拍で開始しなければならないと規定する(ダンスの説明において別途指定されていない限り)。

3. 2015/16 シーズンのショートダンスの要件

3.1 リズム

規程第 709 条第 1 項 a)は、リズム及び/または主題はアイスダンス技術委員会によってシーズン毎に毎年選ばれると定めている。2015/16 シーズンについては、以下のリズムが選ばれた。

ジュニア及びシニア: ワルツ, に加え以下のリズムから任意: フォックストロット, マーチ, ポルカ。

シニア:

パターンダンス要素はワルツのリズムで、いずれかのワルツスタイルで滑らなければならない。パターンダンス要素内を通してリズムは一定で、かつパターンダンス課題ラベンスバーガーワルツに要求されるテンポ、すなわち毎分 3 拍子 66 小節または 198 拍の±3 拍/分に従わなければならない。

パーシャルステップシークェンスは今シーズンの他のリズムから選ばれる 1 つで、そのリズムのスタイルで滑らなければならない。パーシャルステップシークェンスを通じ、曲のテンポは指定されないが、一定でなければならない。

ジュニア:

パターンダンス要素はワルツのリズムで、いずれかのワルツスタイルで滑らなければならない。パターンダンス要素内を通してリズムは一定で、かつパターンダンス課題スターライトワルツに要求されるテンポ、すなわち毎分 3 拍子 58 小節または 174 拍の±3 拍/分に従わなければならない。

ワルツ, フォックストロット, マーチ及びポルカのリズムは、ISU Ice Dance Music Rhythms Booklet 1995 に説明されている。

3.2 変更

規程第 709 条第 1 項 d)及び h)は、それらがアイスダンス技術委員会により毎年変更されうると定めている。2015/16 シーズンについては、アイスダンス技術委員会は以下の特定の変更を採用した:

第 1 項 d): “パターンは概ね一定方向に進行しなければならない、リンクの各端(フェンスから 20 メートル以内)における一度を除いて、氷上の長軸を横切ってはならない。ループは長軸を横切らない限りいずれの回転方向も許容される。

しかしながら:

- パターンダンス要素: ラベンスバーガーワルツ(シニアショートダンス)においてステップ # 10 から 15 を実施する際に長軸を横切ること,
- 非接触ステップシーケンスを実施する(ジュニアショートダンス)際に長軸を横切ること;
- 時計回りの非接触サーキュラーステップシーケンスを実施すること(ジュニアショートダンス), は本条の違反を構成しない。”

第 1 項 h): “最初の動作による計時が開始した後は, カップルは 10 秒を超えて一か所に留まってはならない. プログラム中:

- シニア: 1 回, ただし 1 回だけの完全な停止(10 秒を超えない時間)が含まれなければならない, この停止はパーシャルステップシーケンスの開始を意味する(停止の後直ちに開始する).
- ジュニア: 2 回の完全な停止(それぞれ 5 秒を超えない時間)または 1 回の完全な停止 (10 秒を超えない時間)のいずれもが許容される.

3.3 必須要素

規程第 709 条第 2 項は, ショートダンスの構成中に含まれるべき必須要素のリストと, それら要素の特定の要件は本規程に与えられた要素の中から毎年発表されると定めている. 2015/16 シーズンについては, アイスダンス技術委員会はショートダンスの構成中に含まれるべき必須要素を以下の通り採用した.

● パターンダンス要素

2 セクション:

シニア	ジュニア
ラベンスバーガーワルツ	スターライトワルツ
▪ セクション 1: ステップ#1-19	▪ セクション 1: ステップ#1-17
▪ セクション 2: ステップ#20 - 41	▪ セクション 2: ステップ#18 -32

1 つの後にもう一つを, セクション 1 に続いてセクション 2 を, ステップ#1 がジャッジの左側となるように滑ること.

特記事項:

- パターンダンスの説明, 表及び図は ISU アイスダンスハンドブック 2003 に記載した.
- 規程第 708 条第 1 項以下の変更と共に適用する:
 - b) - 場所: 追加 “しかしながら, パターンダンス課題ラベンスバーガーワルツのステップ#10 から 15 で長軸を横切るとは許容される.”
 - d) - タイミング: 最初の文章は “パターンダンス要素は, パターンダンス要素セクション 1 またはパーシャルステップシーケンスの第 1 ステップが, 4 小節からなる音楽フレーズの第 1 拍目で開始されるよう、音楽に厳密に合わせて滑走しなくてはならない” と読み替える.

● ダンスリフト: 最大 1 つのショートリフト

- ステップシーケンス

シニア: ホールドでの 1 つのパーシャルステップシーケンス:

- パターン: 必須の停止の後, 直ちに開始し(すなわち, パーシャルステップシーケンスはプログラム冒頭からは始められない), 同じ場所で完了する氷面の完全な 1 周回;
- 時間: 4 小節からなる音楽フレーズの整数回;
- ホールド: 規程第 703 条第 4 項, first bullet の例外として, 伸ばした腕でのハンドインハンドホールドは確立されず, パートナーはホールド変更の間やツイズル中であっても常に接触を保たなければならない;

ジュニア: 1 つの非接触ミッドライン, ダイアゴナルまたはサーキュラーステップシーケンス,

- 1 セットのシーケンシャルツイズル

2015/16 シーズン パターンダンス要素のためのキーポイント及びキーポイント特徴

スターライトワルツ

パターンダンス要素 (1SW)	キーポイント1 女子のステップ 9 から 10(RBOI, LBO-SwR)	キーポイント2 男子のステップ 9 から 10(LFOI, RFO-SwR)	キーポイント3 女子のステップ 16 から 17(LFO CIMo, RBO)
キーポイント特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なエッジチェンジ(#9)	1. 正確なエッジ 2. 正確なエッジチェンジ(#9)	1. 正確なエッジ 2. CIMo – 正確なターン 3. CIMo – フリーフットの正確な位置
パターンダンス要素 (2SW)	キーポイント1 女子のステップ 21 から 22(LFI, OpMo, RBI)	キーポイント2 男子のステップ 27 から 28(CR-RFO, CR-LFO3)	キーポイント3 男女のステップ 31(CR-RFO-SwR)
キーポイント特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリーフットの正確な位置	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ 2. フリーレッグの正確なスイング動作

ラベンスバーガーワルツ

パターンダンス要素 (1RW)	キーポイント1 男子のステップ 1 と 3(RFI3-Sw, RFI3-Sw)	キーポイント2 女子のステップ 14 から 15 (LFI OpMo, RBI)	キーポイント3 男子のステップ 14 から 15(LFI OpMo, RBI)
キーポイント特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリーレッグの正確なスイング動作	1. 正確なエッジ 2. OpMo - 正確なターン 3. フリーフットの正確な位置	1. 正確なエッジ 2. OpMo – 正確なターン 3. フリーフットの正確な位置
パターンダンス要素 (2RW)	キーポイント1 女子のステップ 28(LFI3) 男子のステップ 30(LFO3)	キーポイント2 男子のステップ 36a と 36b(LFO, RFO)	キーポイント3 女子のステップ 36(LFO-SwRk) 男子のステップ 37 から 38(RFI ClCho, LBO)
キーポイント特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリーレッグの正確なスイング動作(ステップ#36- SwRk) 4. フリーフットの正確な位置(ステップ#37 から 38 - ClCho)

注: ステップの最終拍中でのエッジ変更は次のステップへのプッシュ/移行の準備のために許容される. (キーポイントでの例: 1SW-キーポイント1 ステップ #9; 2SW-キーポイント3 ステップ#31; 1RW-キーポイント1 ステップ#1 と 3; 2RW-キーポイント2 ステップ#36a と 36b)

注: ステップ及びステップの追加の説明は, 規程第 704 条及び ISU アイスダンスハンドブック 2003 の I-9 節スターライトワルツ及び I-10 節ラベンスバーガーワルツに定義/記述されている. パターンダンスについての教育 DVD(注文番号 ID4)は ISU 事務局から入手できる.

4. フリーダンスの必須要素 2015/16 シーズン

規程第 710 条第 2 項は、バランスのとれたフリーダンスプログラムに含まれるべき必須要素のリストとその特定要件は、本規程に定められた選択肢の中から毎年発表される、と定めている。2015/16 シーズンについて、アイスダンス技術委員会はバランスのとれたフリーダンスプログラムに含まれるべき必須要素を以下の通り採用した。

4.1 ベーシックノービス

ダンスリフト: 最大 1 つのショートリフト

ホールドでのストレートラインステップシーケンス(ミッドラインまたはダイアゴナル)またはホールドでのカーブドステップシーケンス(サーキュラまたはサーペンタイン)から 1 つ

1 セットのシンクロナイズドツイズル

ダンススピンはベーシックノービスのフリーダンスの必須要素には含まれない。ただし、カップルが一緒に同じ軸の周りを片足(または両足)で滑走するような回転動作は、ホールドと回転数の制限なく許容される。カップルはこの動作を振り付けの一部として用いても良い。テクニカルパネルはこの動作を無視し、ジャッジはこの動作を許容される停止の一つとして考慮しない。

レベルの説明: ベーシックノービスのフリーダンスについて、全ての必須要素はレベル 2 の特徴までだけが数えられる。それ以上の特徴はレベルの要件としては数えられず、テクニカルパネルによって無視される。

4.2 アドバンストノービス

ダンスリフト: 最大 2 つの異なる種類のショートリフト

最大 1 つのスピン

注: コンビネーションスピンは許されない。

ホールドでのストレートラインステップシーケンス(ミッドラインまたはダイアゴナル)またはホールドでのカーブドステップシーケンス(サーキュラまたはサーペンタイン)から 1 つ

1 セットのシンクロナイズドツイズル

レベルの説明: アドバンストノービスのフリーダンスについて、全ての必須要素はレベル 3 の特徴までだけが数えられる。それ以上の特徴はレベルの要件としては数えられず、テクニカルパネルによって無視される。

4.3 ジュニア及びシニア

ダンスリフト

シニア: 最大で

- 1 回のショートリフト及び 1 回のコンビネーションリフト
(ショートリフトの種類はコンビネーションリフトを構成するショートリフトの種類と異ならなければならない),
または
- 3 つの異なる種類のショートリフト

ジュニア: 最大で

- 1 つのコンビネーションリフト, または

- 2つの異なる種類のショートリフト

最大1つのダンススピン

2つのホールドのステップシーケンス

- 1つのホールドのストレートラインステップシーケンス(ミッドラインまたはダイアゴナル)
- 1つのホールドのカーブドステップシーケンス(サーキュラまたはサーペンタイン)

1セットのシンクロナイズドツイズル

最大1つのコレオグラフィック要素. 規程第704条第19項は, アイスダンス技術委員会がコレオグラフィック要素の特徴を指定すると定めている. 2015/16シーズンについては, アイスダンス技術委員会は以下の要件を採用した. コレオグラフィック要素は以下のうちの何れか1つでなければならない:

- **コレオグラフィックダンスリフト:** 10秒までのダンスリフトで, 他の全ての必須ダンスリフトの後に演技されるもの, または
- **コレオグラフィックスピニングムーブメント:** 必須のダンススピンの後で, 二人ともが少なくとも連続で2回転する回転動作:
 - ホールドを問わず,
 - 片足でも, 両足でも, パートナーの一方が支持されずに持ち上げられても, またこれら3つを組み合わせても良く,
 - 移動しても良い共通の回転軸で実施される.
- **コレオグラフィックツイズルムーブメント:** 2つの部分からなり, 必須のツイズルセットの後に実施されるツイズル動作.
以下の要件が適用される:
 - いずれの部分とも: 片足または両足または両方の組み合わせで,
 - 1つ目の部分: 同時に2人ともが移動しながら少なくとも連続で2回転実施されること(1地点に留まってはならない)
 - 2つ目の部分: パートナーの少なくとも1人が少なくとも連続で2回転実施し, 1人または2人ともが1地点に留まっても, 移動しても, 両方の組み合わせでもよい.

4.4 必須要素の要件

ステップシーケンスのスタイル: ステップシーケンスの難度レベルは, 以下のレベル特徴に従って決定されなければならない:

- ノービス(ベーシック及びアドバンス)フリーダンス(ストレートラインまたはカーブドのホールドでのステップシーケンス): スタイル B
- ジュニアショートダンス(非接触のミッドライン, ダイアゴナルまたはサーキュラステップシーケンス): スタイル A
- シニアショートダンス(ホールドでのパースシャルステップシーケンス): スタイル B*
- ジュニア及びシニアフリーダンス(ストレートライン及びカーブドステップシーケンス):
 - 最初に実施したもの: スタイル A
 - 後に実施したもの: スタイル B

スタイル A, スタイル B 及びスタイル B* のレベルの特徴は, 関連するコミュニケーションに継続的に有効な技術要件として公表される.

注:

スタイル B*は, このステップシーケンス(ホールドでのパースシャルステップシーケンス)に関する制限が, 逆走やループが許容されないという点でスタイル B とは異なることを意味する.

ステップシーケンス及びパーシャルステップシーケンスで許容されない要素: 停止, パターンの逆走及びループはステップシーケンス及びパーシャルステップシーケンスに含まれてはならないか, または制限される. それらは許容されない要素として次のように特定される:

	パーシャルステップ シーケンス (スタイル B*)	唯一のまたは最初 に実施されるステッ プシーケンス (スタイル A)	後に実施される ステップシーケンス (スタイル B)
停止:**	許容されない (パーシャルステップシー ケンスは必須の停止の 後、すぐに開始する)	許容されない	許容されない
パターンの 逆走	許容されない	許容されない	1 回を超えるパターンの逆走 または 2 小節を超える長さの 逆走
ループ	許容されない	Not permitted	許容されない
分離	許容されない	許容されない	シニアフリーダンスでは許容-腕 2 つ分の距離を超えず, 5 秒間を 超えないこと

** 規程第 704 条により, ダンススピンの及びピルエットは停止である.

必須要素は, 必須ステップシーケンスを除き, プログラムのどこで滑走しても良い.

ミラノ,
2015 年 3 月 18 日
ローザンヌ,

ISU 会長 Ottavio Cinquanta
専務理事 Fredi Schmid